

令和4年5月13日

各位

会社名 ワイエスフード株式会社
代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
(スタンダード・コード番号3358)
問合せ先 常務取締役 濱崎 祐和
TEL 0947-32-7382

業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日付「令和4年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表した令和4年3月期(令和3年4月1日～令和4年3月31日)の業績につきまして、前期実績値(令和3年3月期(令和2年4月1日～令和3年3月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和4年3月期通期業績の前期実績との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期実績値(A) (令和3年3月期通期) | 1,303 | △94 | △73 | 0 | 0.09 |
| 当期実績値(B) (令和4年3月期通期) | 1,287 | △46 | 3 | △83 | △13.68 |
| 増減額(B-A) | △16 | 48 | 77 | △83 | △13.68 |
| 増減率(%) | △1.2 | — | — | — | — |

2. 差異の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた営業時間の短縮及び休業の影響により、国内直営店の店舗売上高及び国内FC店舗への食材出荷が減少したことで、売上高は、前事業年度に比べ16百万円減収(1.2%減)の1,287百万円となりました。

一方、営業利益におきましては、前事業年度に引き続き本社及び店舗におけるコスト圧縮を図った結果、前事業年度に比べ48百万円損失額が圧縮されております。

しかしながら、経常利益におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う福岡県感染拡大防止協力金等の助成金収入37百万円等の影響により、前事業年度に比べ77百万円の増益となり、第21期(平成27年3月期)以来の経常利益3百万円となったものの、本日公表の「特別損失の計上に関するお知らせ」に記載の通り、持分法適用関連会社のJapan Traditionals Sp. z. o. oの株式について関連会社株式評価損18百万円、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づく減損損失45百万円及び貸倒引当金繰入額17百万円を特別損失に計上した結果、当期純利益は△83百万円となりました。

その他詳細につきましては、本日公表の「令和4年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて記載しております。

以上